

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 44 週（10 月 28 日～11 月 3 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	5 人	類型	患者 2 人、 無症状病原体保有者 3 人 血清型 O157 3 人、不明 2 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人	推定感染地域	国内
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人	病型	腸管アメーバ症
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人
急性脳炎	1 人	病原体	不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人	血清群	G 群
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人		
梅毒	5 人	病型	早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人
百日咳	10 人	年齢階級	3 歳 1 人、4 歳 1 人、 8 歳 1 人、10 歳代 3 人、 20 歳代 2 人、40 歳代 1 人、 60 歳代 1 人
麻疹	1 人	病型	検査診断例

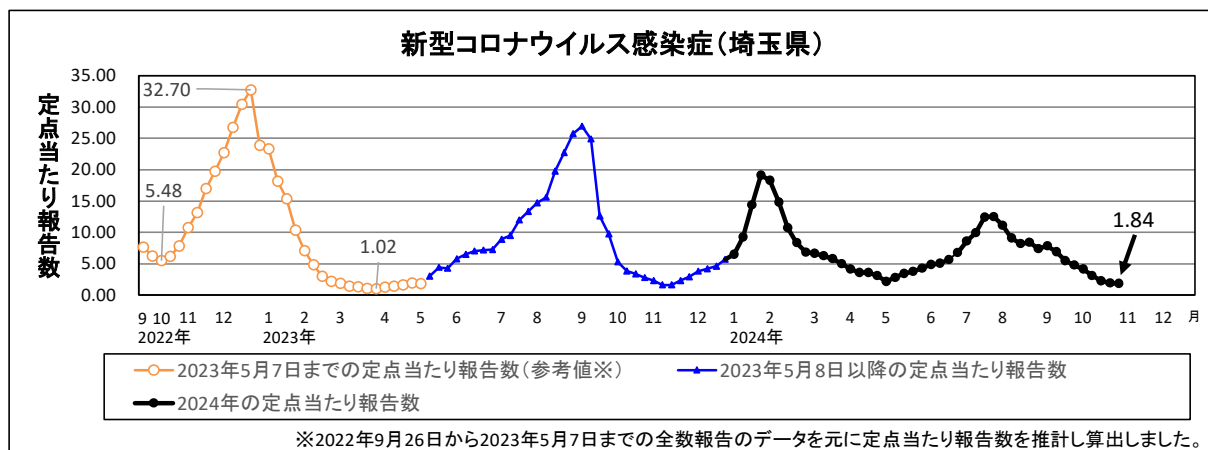
＜定点把握対象疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症（1.92→1.84：図 1）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、幸手（4.21）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 24 人（前週 16 人）であった。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図 2）は、64 人（前週 56 人）の報告があり、前週と比較して増加した。定点当たり報告数は 5.33 で、感染症法が施行された 1999 年以降の最大値である 5.22（2010 年第 18 週）を上回った。年齢階級別では、9～11 歳の報告が 21 人と最も多く、11 歳以下の患者が全体の約 78%であった。手足口病（12.82→11.74：図 3-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少したものの、依然として多い状況にある。保健所別では、前週に引き続き南部（22.00）、川口市（21.31）保健所管内からの報告が多い。伝染性紅斑（0.85→1.08：図 4-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。定点当たり報告数が 1.00 を上回るのは 2019 年第 30 週以来 5 年ぶりであり、今後の動向に注意が必要である。保健所別では、引き続き南部（4.00）保健所管内からの報告が非常に多く、さいたま市（2.18）保健所管内からの報告も多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 17 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、インフルエンザ（入院）1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idscc.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第44週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移

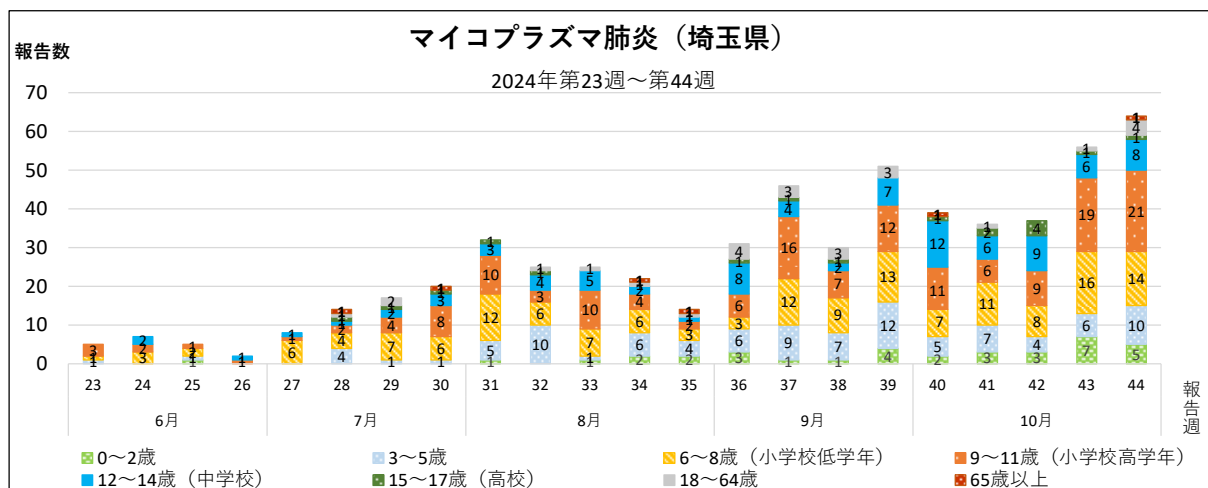


図3-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

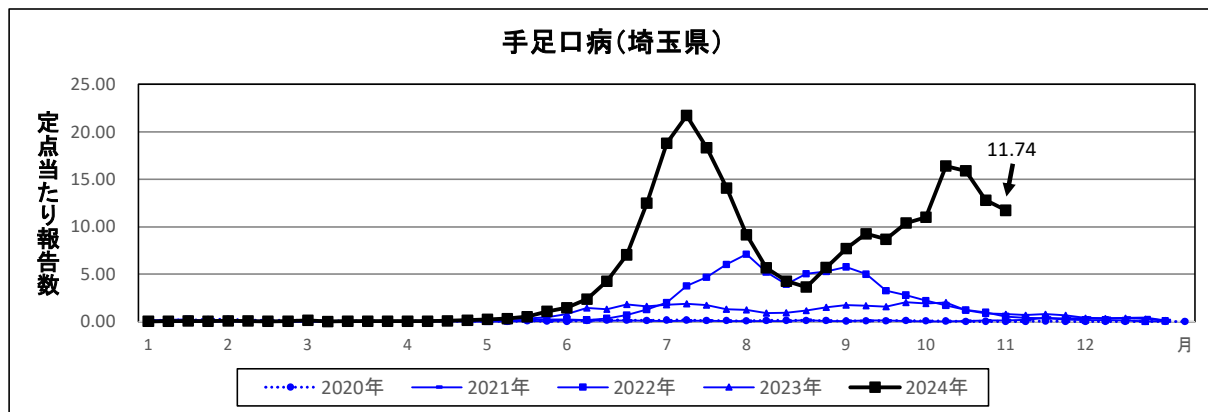


図 3-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 42 週～第 44 週)

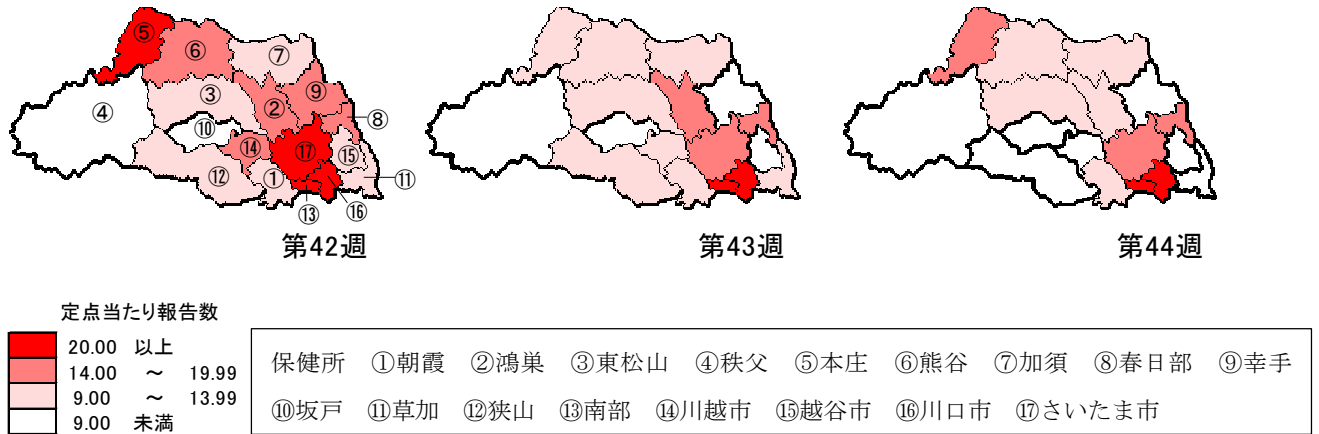


図 4-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

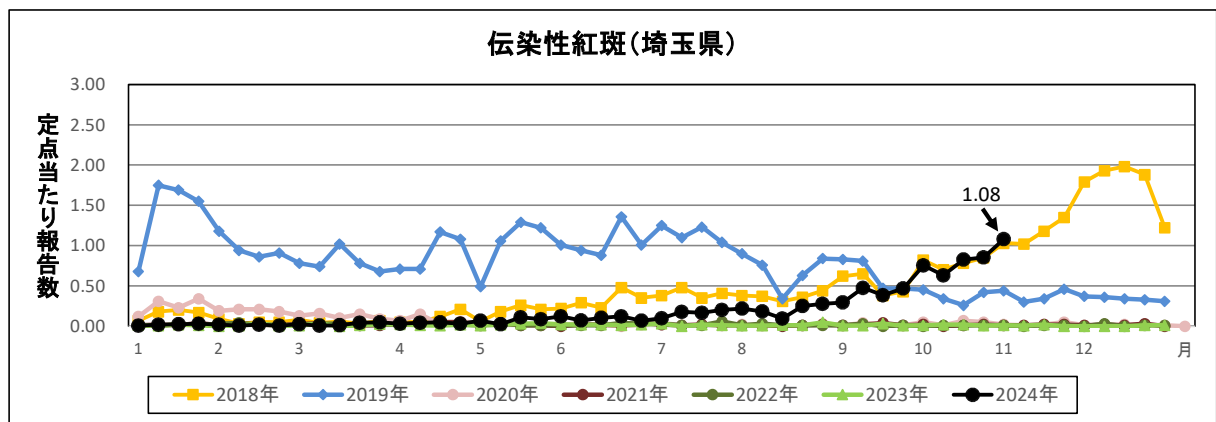
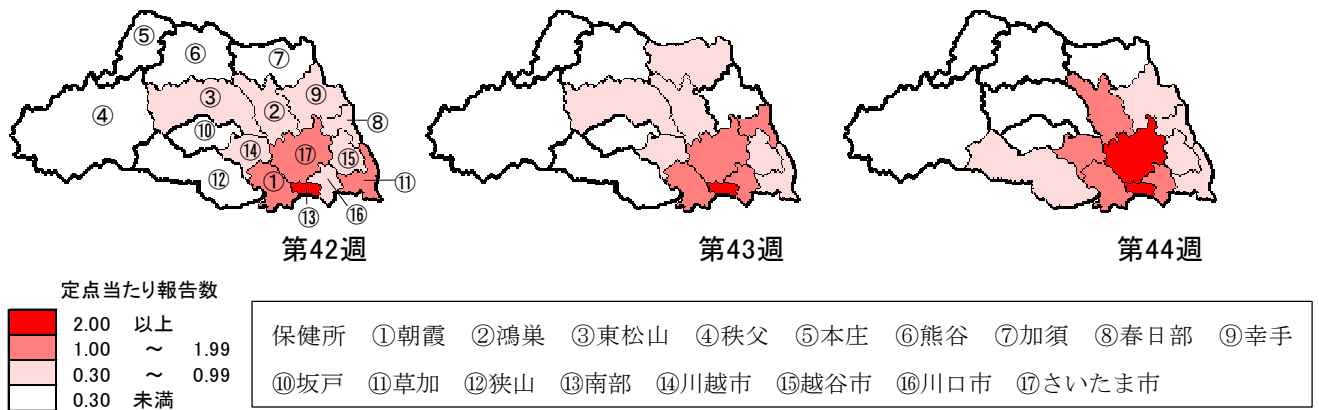


図 4-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 42 週～第 44 週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第44週)

(2024年11月5日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	150			
四類感染症					
E型肝炎	1	34	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症		110
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	22	侵襲性肺炎球菌感染症	1	77
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		15	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	85	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	5	387
急性脳炎	1	22	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	100	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		29	百日咳	10	125
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		20	麻しん	1	8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第44週

10月28日~11月3日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
全 県	報告数	174	478	41	44	328	529	26	1,914	176	45	58	8	2	17	-	1	64	-	-	1	24
	定点当たり	0.67	1.84	0.25	0.27	2.01	3.25	0.16	11.74	1.08	0.28	0.36	0.05	0.05	0.40	-	0.08	5.33	-	-	0.08	2.00
朝 霞	報告数	13	32	-	2	47	44	6	177	23	3	7	2	-	1	-	1	17	-	-	-	1
	定点当たり	0.57	1.39	-	0.13	3.13	2.93	0.40	11.80	1.53	0.20	0.47	0.13	-	0.25	-	1.00	17.00	-	-	-	1.00
鴻 巣	報告数	17	39	2	6	19	39	-	134	13	7	1	2	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.89	2.05	0.17	0.50	1.58	3.25	-	11.17	1.08	0.58	0.08	0.17	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	-	9	-	-	1	38	-	51	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	1.13	-	-	0.20	7.60	-	10.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	3	15	5	1	-	-	-	4	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.60	3.00	1.67	0.33	-	-	-	1.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	4.00
本 庄	報告数	4	14	-	-	2	-	-	57	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.57	2.00	-	-	0.50	-	-	14.25	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	14	15	1	1	13	33	1	78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	1.08	1.15	0.13	0.13	1.63	4.13	0.13	9.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00
加 須	報告数	1	11	1	-	4	4	-	63	1	-	-	1	-	1	-	-	3	-	-	-	-
	定点当たり	0.10	1.10	0.17	-	0.67	0.67	-	10.50	0.17	-	-	0.17	-	1.00	-	-	3.00	-	-	-	-
春 日 部	報告数	12	12	2	1	7	17	-	86	2	1	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.20	1.20	0.33	0.17	1.17	2.83	-	14.33	0.33	0.17	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	8	59	8	7	30	18	-	70	4	2	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.57	4.21	0.89	0.78	3.33	2.00	-	7.78	0.44	0.22	0.33	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	8	35	-	2	7	31	1	28	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.80	3.50	-	0.33	1.17	5.17	0.17	4.67	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
草 加	報告数	26	49	1	1	12	41	1	106	10	1	3	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.37	2.58	0.08	0.08	1.00	3.42	0.08	8.83	0.83	0.08	0.25	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	14	45	8	4	57	29	4	118	7	4	3	1	1	-	-	-	5	-	-	1	-
	定点当たり	0.56	1.80	0.50	0.25	3.56	1.81	0.25	7.38	0.44	0.25	0.19	0.06	0.20	-	-	-	5.00	-	-	1.00	-
南 部	報告数	9	22	2	1	34	37	-	110	20	3	20	1	-	-	-	-	6	-	-	-	3
	定点当たり	1.13	2.75	0.40	0.20	6.80	7.40	-	22.00	4.00	0.60	4.00	0.20	-	-	-	-	6.00	-	-	-	3.00
川 越 市	報告数	5	22	-	1	8	15	2	61	8	5	4	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.38	1.69	-	0.14	1.14	2.14	0.29	8.71	1.14	0.71	0.57	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	8	32	2	1	19	27	-	66	4	1	3	-	-	-	-	-	9	-	-	-	1
	定点当たり	0.62	2.46	0.25	0.13	2.38	3.38	-	8.25	0.50	0.13	0.38	-	-	-	-	-	9.00	-	-	-	1.00
川 口 市	報告数	14	29	1	9	16	60	4	277	21	5	6	1	-	1	-	-	5	-	-	-	1
	定点当たり	0.70	1.45	0.08	0.69	1.23	4.62	0.31	21.31	1.62	0.38	0.46	0.08	-	0.25	-	-	5.00	-	-	-	1.00
さいたま市	報告数	18	38	8	7	52	96	7	428	61	9	7	-	1	9	-	-	19	-	-	-	2
	定点当たり	0.42	0.88	0.29	0.25	1.86	3.43	0.25	15.29	2.18	0.32	0.25	-	0.11	1.00	-	-	19.00	-	-	-	2.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

11月 5日 13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第44週 10月28日～11月3日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	174	-	-	6	4	5	6	6	1	9	8	8	39	17	16	12	14	6	8	8	1
新型コロナウイルス感染症	478	4	8	10	6	4	6	3	2	1	6	6	28	25	38	38	50	70	55	68	50
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	41	7	6	21	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	44	-	1	10	5	3	7	4	4	2	5	2	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	328	-	-	5	12	23	40	32	36	31	43	14	70	5	17						
感染性胃腸炎	529	5	26	50	55	54	52	51	37	40	31	29	57	16	26						
水痘	26	-	2	2	2	1	2	1	5	4	2	2	3	-	-						
手足口病	1,914	7	58	277	257	252	280	229	184	110	94	54	93	10	9						
伝染性紅斑	176	-	-	4	13	17	27	23	32	16	21	14	8	-	1						
突発性発しん	45	-	7	28	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	58	-	7	13	8	4	8	6	5	3	2	1	-	-	1						
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	3	-	1	2	-	1	1	-	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	17	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	1	-	-	5	2	4	1	-	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	64	-	10	24	24	1	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	24	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	2	17				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第42週 (10月14日～10月20日)

令和6年11月6日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.18)、鹿児島県(1.54)、茨城県(1.47)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は69例と前週と比較して減少した。都道府県別では27都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(19例)、10代(6例)、40代(3例)、50代(5例)、60代(4例)、70代(13例)、80歳以上(18例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(4.05)、北海道(3.78)、山梨県(3.12)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は956例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(20例)、1～9歳(27例)、10代(7例)、20代(6例)、30代(20例)、40代(20例)、50代(33例)、60代(100例)、70代(222例)、80歳以上(501例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(0.67)、宮城県(0.62)、山形県(0.61)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.73)、沖縄県(0.66)、福井県(0.44)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(3.97)、鳥取県(3.89)、茨城県(3.20)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(6.47)、福井県(4.96)、徳島県(4.83)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(26.93)、宮城県(21.36)、福島県(20.63)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は神奈川県(1.18)、東京都(1.08)、青森県(0.84)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.79)、鹿児島県(0.71)、大分県(0.56)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は熊本県(0.10)、佐賀県(0.09)である。

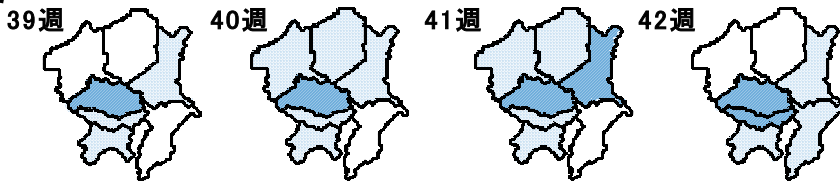
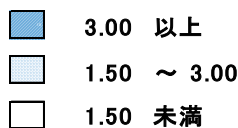
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第35週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(4.83)、佐賀県(4.67)、愛知県(4.47)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少し、今週の報告はなかった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第42週(10月14日～10月20日): 通巻第26巻 第42号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、東京都(3.84)、埼玉県(3.08)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 42週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	3,596	1,098	176	39	43	116	170	308	246
	定点当たり	0.73	0.72	1.47	0.51	0.51	0.44	0.83	0.74	0.68
新型コロナウイルス感染症	報告数	9,165	2,880	325	175	176	594	462	543	605
	定点当たり	1.86	1.88	2.71	2.30	2.07	2.28	2.26	1.30	1.66
RSウイルス感染症	報告数	799	181	11	23	3	43	22	35	44
	定点当たり	0.25	0.19	0.15	0.48	0.06	0.26	0.17	0.13	0.19
咽頭結膜熱	報告数	589	148	17	6	11	40	15	31	28
	定点当たり	0.19	0.15	0.23	0.13	0.21	0.24	0.12	0.12	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,334	1,672	240	55	51	334	320	392	280
	定点当たり	1.70	1.74	3.20	1.15	0.96	2.04	2.52	1.49	1.21
感染性胃腸炎	報告数	7,205	2,160	138	60	156	421	287	666	432
	定点当たり	2.29	2.25	1.84	1.25	2.94	2.57	2.26	2.53	1.87
水痘	報告数	453	153	6	7	6	42	14	33	45
	定点当たり	0.14	0.16	0.08	0.15	0.11	0.26	0.11	0.13	0.19
手足口病	報告数	29,416	11,951	676	766	749	2,608	1,584	2,967	2,601
	定点当たり	9.37	12.44	9.01	15.96	14.13	15.90	12.47	11.28	11.26
伝染性紅斑	報告数	1,045	835	7	21	15	136	101	283	272
	定点当たり	0.33	0.87	0.09	0.44	0.28	0.83	0.80	1.08	1.18
突発性発しん	報告数	764	223	15	17	11	36	28	65	51
	定点当たり	0.24	0.23	0.20	0.35	0.21	0.22	0.22	0.25	0.22
ヘルパンギーナ	報告数	816	277	25	8	13	77	45	61	48
	定点当たり	0.26	0.29	0.33	0.17	0.25	0.47	0.35	0.23	0.21
流行性耳下腺炎	報告数	114	46	3	1	3	8	7	8	16
	定点当たり	0.04	0.05	0.04	0.02	0.06	0.05	0.06	0.03	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	6	4	4	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	0.25	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	263	95	13	2	-	15	24	13	28
	定点当たり	0.38	0.45	0.81	0.17	-	0.36	0.69	0.33	0.55
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	21	9	-	-	-	4	1	2	2
	定点当たり	0.04	0.10	-	-	-	0.33	0.11	0.08	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	965	221	33	10	9	37	14	96	22
	定点当たり	2.01	2.54	2.54	1.43	1.00	3.08	1.56	3.84	1.83
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	4	-	-	-	-	-	4	-
	定点当たり	0.01	0.05	-	-	-	-	-	0.16	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

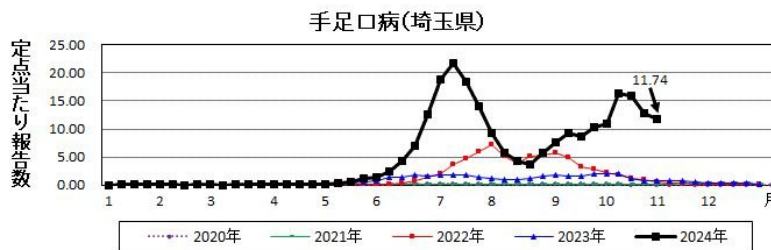
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第44週

2024年第44週（10月28日～11月3日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少したものの、依然として多い状況にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↓	★★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	↑	★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

